



高崎市認知症地域支援推進員たより

第2号

本人ミーティング開催 に向けて



★本人ミーティングとは？



認知症の本人が集い、本人同士が主になって、自らの体験や希望、必要としていることを語り合い、自分たちのこれからよりよい暮らし、暮らしやすい地域のあり方を一緒に話し合う場です。

★なぜ、本人ミーティングが必要？

《本 人》

- ◆声をよくきいてもらえない
- ◆わかってくれる人、仲間に出会えない
- ◆生きていく張り合いがない

《地域の人、支援関係者、行政》

- ◆本人の声をよくきいたことがない
- ◆本人のことが、よくわからない
- ◆つきあい方、支え方がよくわからない



○本人が仲間と出会い、思いを素直に語れる場/聞く場が、地域にあったらお互いが、楽に、元気になれる。

現在の活動

本人ミーティングを開催した方からのお話を伺いました!!



『田部井康夫氏』
公益社団法人
認知症の人と家族の会
群馬県支部代表

・・・本人ミーティングを開催して・・・

「家族の会」主催なので、家族と一緒に参加する形で企画した。家族と一緒に時間、家族と本人別々の時間をそれぞれ設けた。定員10名と少人数で行うことにより、自分の話もできるし、他の参加者の話も聞けるようにした。同じ立場の人同士だと本音で話せる。本人同士が話し合う場があることはとても大切と実感できた。笑いありの楽しい会になった。

・・・参加者からの感想・・・

- ♡楽しい話ができて良かった。
- ♡初めて病気の人と話すことができて良かった。
- ♡自分のしたいことを話すことができた。



高崎市内でも開催できるよう情報を収集しつつ、今後も活動していきたいと思います！関心のある方は、高齢者あんしんセンターまでお問合せください。

*現在活動している当事者の方の声は、一般社団法人日本認知症本人ワーキンググループHPをご覧ください。

本人ワーキング

検索

裏面もあります



今までの取り組み

今まで認知症地域支援推進員が取り組んできた活動を
ご紹介します。

『こころの声』の作成



高崎市の認知症の取り組み
(高崎市ホームページ)



私たちは、“認知症の人を介護している家族を支えることができる地域づくり”を進めています。その中で、リアルな家族の思いを知ることが必要だと思い、アンケートを実施して冊子にしました♪
アンケートでは、152名から回答が得られました☆

こんな声が多く集まりました*

周囲の理解が必要

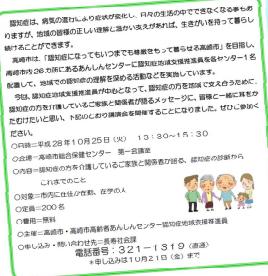
気軽な相談・情報交換
の場が欲しい

精神的に支えてくれる
人がいるといい



認知症の本人・家族の声を届ける講演会などの開催

『支え合おう』認知症講演会
～地域で暮らしていくために～



H28年に、『支え合おう』
認知症講演会～地域で暮ら
していくために～ を
開催しました！

100名近くの方が参加
し、認知症の人や介護者、
その支援者が語るメッセ
ージに耳を傾けました。



H31年には、認知症のお
母さまの介護をしてい
る、アナウンサーの岩佐
まりさんに講演をして
いただきました。

認知症地域支援推進員
も、認知症介護をして
いる地域の方々の声を届け
ました。



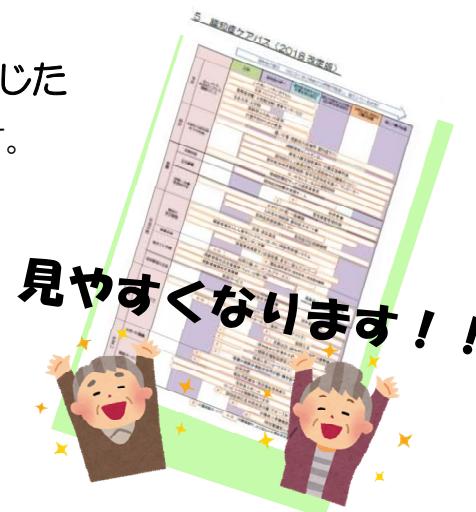
認知症ケアパスの作成

認知症ケアパスとは、認知症の人の状態に応じた
適切なサービス提供の流れをまとめたものです。



推進員たより第1号で紹介した、
『オレンジガイドブック』の中に
掲載されています。

現在、推進員が意見を出し合い、見やすく
分かりやすいケアパスを考案中です♪



お問い合わせは最寄りのあんしんセンターへ

